



みんなの想いを届ける

赤十字活動資金へのご協力をお願いします

日本赤十字社は、国内の災害時の救護をはじめ、国外の紛争・自然災害の被害者に対する緊急救援活動など様々な人道的活動を行っており、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。

市原市地区	令和2年度 日赤社資報告
一般社資(町会・自治会を通じてのご協力)	12,236,381円
法人社資(奉仕団・事務局を通じてのご協力)	159,107円
総額	12,395,488円

問合せ先 日本赤十字社市原市地区(市原市社会福祉協議会内) TEL:24-0011



こんな時だから 繋がることの大切さ

●傾聴の会ひだまり●

「傾聴の会ひだまり」はボランティアセンター主催の「傾聴ボランティア養成講座」を受講した方々を中心に結成したグループで、平成16年に発足。現メンバー37名。

活動は、主に市内の高齢者施設等で入居者やデイサービス利用者の話の聴き役として、年間延べ約1,000回に上ります。

活発に活動していた「傾聴の会ひだまり」も、昨年2月から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動を中止しています。

代表はじめ、中心メンバーはこんな状況でも繋がれる方法はないか話し合い、代表他数名が所属して

問合せ先 ボランティアセンター TEL 20-3100

いる「テレビ電話支援会」でのノウハウを活かし、「傾聴の会ひだまり」として「オンライン傾聴」を令和2年7月からスタートしました。

今まで訪問していた施設でパソコン等の機器環境が整っている施設と、オンラインで会話を楽しんだり、最近では、傾聴だけでなく、ボランティアグループ「SC21の会」とコラボし、オンラインで生演奏を届け、ナツメロと一緒に歌ったりと楽しい時間を過ごしています。

コロナ禍で活動を継続させるにはどうしたらよいか、人と人が繋がり合うにはどうしたらよいか考え、新しい事にチャレンジする意欲、私たち社協職員も見習わなければと思います。

一日も早くコロナが終息し、今まで通りのボランティア活動が行えることを願っています。

ボランティアセンター
からのお知らせ



成年後見制度専門相談開催

あなたの不安を
安心に!!

1.開設日

①市原市社会福祉協議会(いちはら後見支援センター)
(住所:市原市南国分寺台4-1-4)

4月22日(木)	7月21日(水)	10月21日(木)	1月20日(木)
5月20日(木)	8月26日(木)	11月25日(木)	2月24日(木)
6月24日(木)	9月22日(水)	12月23日(木)	3月24日(木)

②市原市南部保健福祉センター(なのはな館)
(住所:市原市牛久377-1)

6月30日(水)
10月27日(水)

職員による後見制度の相談は、平日8時30分から17時15分まで対応しています。お気軽にお問合せ下さい。

ありがとう

寄附
(12月~1月)
敬称略

- 匿名 草刈在住 1,000,000円
- 明治安田生命千葉南支部労働組合 タオル211枚
- 匿名 光風台在住 20,000円
- 小勝山団地フリーマーケット実行委員会
- 匿名 若宮在住 6,000円
- 20,000円/手作りマスク44枚
- 住友化学労働組合 35,000円



社協だよりは、1月・5月発行(町会回覧)3月・9月発行(新聞折込)されます



<http://www.ichihara-shakyo.or.jp>
E-mail info@ichihara-shakyo.or.jp

No.236

2021
3月号

いちばら 社協だより

社協だより5/20、1/20発行号は、
町長の皆様にご協力いただき
町会回覧にて世帯配付しています。

【発行】市原市社会福祉協議会 〒290-0075 市原市南国分寺台4-1-4 TEL.0436(24)0011 FAX.0436(22)3031

あたたかな気持ちで 笑顔あふれるまちに

~共同募金にご協力いただきありがとうございました~

赤い羽根共同募金

10月1日~3月31日

募金の70%は、私たちのまちのために

集まった募金の約70%は、募金をいただいた地域で使われています。
残りの30%は、千葉県共同募金会において、市区町村を越えた広域的な課題を解決するための活動に使われています。また、大規模な災害が起きた際の備えとして「災害等準備金」として積み立てています。

市原市社会福祉協議会に配分された資金につきましては、地区社会福祉協議会の活動や民生委員・児童委員の活動支援など様々な事業で活かされます。

令和2年度
赤い羽根共同募金報告
(令和3年2月22日現在)

総額:
10,801,762円



歳末たすけあい運動

12月1日~12月31日

「歳末たすけあい運動」は共同募金運動の一環として、新たな年を迎える時期に、住民の参加や理解を得て、歳末たすけあい募金、街頭募金活動等を実施しました。(令和2年度福祉バザーにつきましては新型コロナウイルスの影響により中止しております。)

令和2年度 歳末たすけあい募金実績

総額:
5,858,371円

令和2年度
歳末見舞金配布実績

総額:
2,216,000円

市内在住の方で、経済的に生活が苦しい世帯(公的な援助を受けている世帯を除く)に対して、民生委員・児童委員の皆様にご協力をいただき「歳末見舞金」を配布しました。

令和2年度
地域福祉支援事業実績

総額:
691,000円

イベントを通じて世代間交流を行う「交流型事業」と、ゴミ出し支援や戸別訪問を通じた見守りなどを行う「個別支援型事業」を、住民の理解・協力を得て実施しました。



千葉県共同募金会
マスコットキャラクター
「びわぴよ」





こどもたちが安心して過ごせる居場所

こども食堂ってどんなところ…？

こども食堂は、こどもがひとりでも安心して行くことの出来る「こどもの居場所」として、全国的に広がりをみせています。ひとりでごはんを食べるより、みんなで食べる楽しさや温かさを届け、食を通じたこどもたちの成長や、地域の中でこどもたちが安心して過ごせる場所となっています。市原市内では現在、ボランティアの方々を中心に4つの団体で開催しており、それぞれ特色のある活動を行っています。そこで、3月号・5月号の2回にわたり、実施団体の取り組みを紹介します。今回の3月号では、その中から「トイトイ食堂」「Amityいちはらこども食堂」2つの団体を紹介します。

トイトイ食堂

1 地域の居場所となるように

～はじめたきっかけ～

現在の開催場所である京葉中部教会を建設するにあたり、10年前から様々な話し合いを重ねてきました。その中で、週に1度の礼拝等以外に建物を何か地域のために有効活用出来ないかとの意見から、こどもをはじめ地域に住む様々な方が繋がり、交える居場所として「こども食堂」をはじめました。活動を通して、誰もが参加出来る地域の居場所となるよう活動しています。



代表の山本さんにインタビューしました。

●トイトイとは…

ドイツの歌にある「トイトイトイ」が由来となっています。
なにか良いことないかなという意味の“おまじない”の言葉です。

3 温かい気持ちを持った人たちと

～はじめて良かったこと・嬉しかったこと～

「誰かのために何かしたい」との温かい気持ちを持った人たちと一緒に活動できるこども食堂の活動は、やっていてすごく楽しいです。地域のこどもやボランティアの方はもちろん、行政や社協、企業、農家の方などとも繋がることが出来、こども食堂に目を向けていて前向きな人がたくさんいるのだなと感じます。そういった人たちと繋がることはとても嬉しいです。



4 豊かで深い活動となるように

～今後の活動について～

自分で考えていたよりもっと先を見通して、みんなで支え合ったり、企業などと連携して地域を活性化したりと、豊かで深い活動となるようにしていきたいです。また、地域の色々な場所でこども食堂をやってみようとする方が増えればいいなと思っています。こども食堂をはじめることはすごく勇気がいると思いますが、1回経験してみるとたくさん嬉しいことや、はじめる前は見えてこなかった色々なことが見えてきます。今の社会やこどものことに対して、危機感を持っている方がたくさんいると思うので、身近な人に“こども食堂をやってみたい”と話してみてください。手伝うよと手を差し伸べてくれる人は必ずいると思います。

2 多くの人の支援や協力で

～運営や活動について～

立ち上げ当初は、少ない資金を元手に活動となりましたが、生活クラブの「こども食堂基金」や、町会をはじめとする多くの人の支援やご協力をいただき活動してきました。現在は、毎回の参加費をはじめ、市の補助金などを活用し運営しております。スタッフは地域の方を中心に約10名おり、それぞれ「こども担当」「調理担当」に分かれ活動しています。月2回の開催の内、第3土曜日は辰巳台地区社会福祉協議会の方々が中心となり開催しています。食事のメニューは年間を通して決めており、バランス良く栄養が摂れる料理を提供しています。コロナ禍



参加希望・寄附等についての問合せ先

日時 每月第1・3土曜日(16:00~18:00) 料金 こども100円、おとな300円
場所 第1土曜日：京葉中部教会(辰巳台東3-11) 第3土曜日：辰巳公民館(辰巳台西3-14-1)
連絡先 080-6607-1917(山本) 18時以降
[メールアドレス] 第1土曜日 toitoisyokudo@yahoo.co.jp 第3土曜日 info@tatumidai-chikushakyo.com

横のつながりを深めるために

意見交換会の開催

10月14日(水)市内のこども(地域)食堂関係者を集め、情報交換や団体同士の横のつながりを深めることを目的とした意見交換会を開催しました。当日は、活動する中での気づきや課題などについての情報交換や、市内にこども食堂を広めていくためのネットワークの設置について意見交換を行いました。今後も活動者主体での情報交換や学びを通じ、市内にこども(地域)食堂の輪が広がるよう、継続的に開催していきたいと思います。



1 親子のコミュニケーションの場やきっかけに

～はじめたきっかけ～



ネグレクトなどのこどもやその親に関することが社会問題となっている時期に、こどもたちのために何か支援や活動が出来ないかとの思いがあり、商工会議所のキャリサボ(女性起業家支援ネット)でつながりのあった3人で「Amityいちはら」を結成し「こども食堂」をはじめました。Amityのこども食堂が、親子がゆっくりコミュニケーションをとれる場や、きっかけになればと思い活動しています。

2 コロナ禍の間はお弁当を

～運営や活動について～

地域の農家の方からの食材の寄付や、全国のこども食堂を支援する「むすびえ」の助成金などを使い運営しています。チラシやSNSなどを使いお知らせして、令和2年の2月に五井公民館で初めて開催しました。その後はコロナの関係から場所を設けての開催は



参加希望・寄附等についての問合せ先

日時 每月第3水曜日 16:00~18:00 料金 こども100円、おとな300円
場所 きまぐれカフェclover(市原市白金町1-38-3) 他3カ所 HPをご覧ください。
連絡先 050-3628-0141(山内) [メールアドレス] kodomo-ichihara@amity.love



4 誰もが参加できる場所を目指して

～今後の活動について～

コロナの影響で場所を設けての開催は今のところ難しいですが、食事の提供だけでなく学習支援や、こどもからお年寄りまで地域の誰もが参加できる「地域食堂」を目指していきたいです。地域でこどもたちを支え合えるよう、こどもたちが歩いて行ける範囲に、たくさんこども食堂が出来ればいいなと思っています。